

---

## 第6回経営協議会 議事要録

---

日 時	平成23年 3月16日(水) 13:10~15:16
場 所	「特別会議室」(本部棟2階)
出席者	田中議長, 西園委員, 山下委員, 清水委員, 長岡委員, 石塚委員, 泉委員, 坂田委員, 村田委員 (菴谷委員は2月28日に逝去, 柿内委員, 福家委員は欠席)
陪席者	長地監事, 森田監事

---

議事に先立ち, 田中議長から, 3月11日(金)に発生した「東北地方太平洋沖地震」で亡くなられた方々への追悼及び被災された方々への見舞いが述べられた。

また, 2月28日(月)に逝去された菴谷利夫委員に対して追悼の意を表するとともに, 出席者全員による一分間の黙祷が捧げられた。

引き続き, 田中議長から, 開催通知において, 報告事項(3)としてあげていた「運営費交付金等による施設整備について」を審議事項(2)として追加し, 「平成23年度学内予算配分について」を審議事項(3)とする旨, 説明があった。

続いて, 山下理事から, 「東北地方太平洋沖地震」発生後の本学の入学者選抜試験における対応及び学生の安否確認等について, 以下のとおり説明があった。

① 入学者選抜試験における対応

- ・ 学校教育学部入学者選抜試験(後期日程): 予定どおり3月12日(土)に実施した。
- ・ 大学院学校教育研究科入学者選抜試験(第2次募集): 予定どおり3月13日(日)に実施した。

なお, 関東方面からの受験生1人は公共交通機関の乱れにより受験できなかったため, 3月17日(木)に追試を実施する予定である。

② 本学学生の安否確認等について

- ・ 地震発生後, 教務課・学生課等において安否等を確認した結果, 被害等はなし。

引き続き, 田中議長から, 1月27日開催の第5回経営協議会以降の本学を取り巻く状況等について, 以下のとおり説明があった。

① 平成23年度運営費交付金の配分については, 予算関連法案に該当しないため, 内示どおり配分される予定である。

② 国立大学協会が6月末までに策定する「大学改革のフレーム」に基づき, 各大学は機能別分化を明確にし, 特色を打ち出すとともに, 他大学・学部(私立大学を含む)との連携強化を推進すること。改革の進捗状況によっては, 平成24年度予算が厳しくなることも想定される。

③ 本学では, 平成23年度に予防教育科学, 小学校英語活動, 特別支援教育等をより一層推進する。

④ 教員養成系大学の必要性が問われている(教員就職率, 新課程等の課題)。

---

## 議 事

### ○ 審議事項

#### (1) 平成23年度年度計画について

田中議長及び西園理事，山下理事，清水理事から，資料1〔平成23年度国立大学法人鳴門教育大学年度計画（案）〕に基づき，平成23年度年度計画について説明があり，審議の結果，「インターネットによる遠隔教育を用いた大学院」の開設等に関する計画については，開設時期を原案の「平成24年度」から「平成25年度」に変更することも含めて，役員会で調整することとし，その他については，原案どおり承認された。

なお，審議の際に出された意見は以下のとおり。

[◇：委員の意見， ◆：大学側の回答]

◇ インターネットによる遠隔教育を用いた大学院については，コスト面も含めて，学内でどのような検討が行われているか。

◆ 企画戦略室内の検討委員会で構想案を検討の上，全学教職員を対象とした説明会を実施し，意見を伺っている。

教育支援及び教材等作成のための支援要員も必要で，コンテンツ作成には時間を要する。

◆ これまでの科目等履修生による実績を踏まえ，ストリーミング配信，双方向通信等の実現も可能であると考えている。また，クラウド化等によりコストを抑える予定である。

◇ 鳴門市で平成23年度に小学校英語活動に関する全国学会が開催される。大学と連携して進めていきたい。また，その際に鳴門市の物産を展示し，鳴門市の情報発信にも協力願いたい。

- ◇ インターネットを活用した大学院を開設することにより、定員の見直しはどのようになるか。
- ◆ コースの設定については、各コースの意見を踏まえながら判断していきたい。
- ◇ 開設にあたっては、教員による「推進グループ」を設定し、授業開設だけではなく、双方向通信による指導、成績評価や教育の質の担保の観点も含めて検討する必要があると思う。
- ◇ 徳島県においても ICT 推進のための「e-とくしま推進会議」が設置されているが、「教育分野」の検討が最も進まなかった。現職教員には ICT に関する技術・能力が求められていると思う。
- ◇ 中央教育審議会の特別部会においても、ICT を活用した授業を行うための能力等が指摘されている。

双方向通信による指導と教育実践とを結び付けるアイデア、先進的なインターネット大学院を検討してもらいたい。

## (2) 運営費交付金等による施設整備について

田中議長及び清水理事から、資料2〔運営費交付金等による施設整備について〕及びお参考資料〔学生プラザ（広島大学）〕に基づき、学生サービスを向上させることを目的として、運営費交付金等により、教務課、学生課、就職支援室等の学生窓口を集約（ワンストップ・サービス）した施設を整備することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、施設の具体的な構想については、各教育部の意見等を踏まえながら、検討を進めることとした。

## (3) 平成23年度学内予算配分について

田中議長及び清水理事から、資料3〔平成23年度学内予算配分について〕に基づき、平成23年度収入支出予算案、学内予算編成方針等について説明があり、審議の

結果，原案どおり承認された。

#### (4) その他

特になし

---

### ○ 報告事項

#### (1) 第1期中期目標期間の業務実績評価の結果について

田中議長から，資料4〔第1期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果（原案）〕に基づき，国立大学法人評価委員会から評価結果原案の提示があり，本学からは意見申立を行わなかったこと，3月又は4月頃に評価結果が決定し，国立大学法人へ通知，公表される予定である旨，報告があった。

#### (2) 教職大学院設置計画履行状況等調査の結果について

田中議長から，資料5〔教職大学院設置計画履行状況等調査の結果について〕に基づき，平成22年度の教職大学院設置計画履行状況等調査の結果，本学教職大学院において留意事項は付かなかった旨，報告があった。

#### (3) 平成23年度大学院第2次学生募集状況等について

山下理事から，資料6〔平成23年度大学院学校教育研究科志願者集計表（第2次）〕に基づき，平成23年度大学院第2次学生募集における志願者数及び受験者数，大学院前期・後期入学者選抜試験合格者における入学手続完了者数について報告があった。

なお，報告の際に出された意見は以下のとおり。

[◇：委員の意見， ◆：大学側の回答]

- ◇ 就職率1位達成による広報の効果はあったか。
- ◆ 昨年度と比べて入学辞退率が下がっていること等，一定の効果はあったと思うが，詳細は，後日，アンケート調査を実施する予定である。

#### (4) その他

##### ① 学校教育学部における平成22年度教員就職率及び平成23年度入学志願状況について

清水理事から，資料7〔平成22年度教員就職率と平成23年度学部入学者選抜の志願状況〕に基づき，本学を含む教員養成系大学・学部における平成22年3月卒業者の教員就職状況と平成23年度学部入学者選抜の志願状況について，就職率の順位及び，志願倍率ともに44大学中，1位である旨，報告があった。

##### ② 平成23年度からの事務組織について

清水理事から，資料8〔平成23年度からの事務組織について〕に基づき，平成23年度からの事務組織の編成について報告があった。

##### ③ 平成23年度経営協議会開催予定について

田中議長から，資料9〔平成23年度経営協議会開催予定について〕に基づき，平成23年度の経営協議会の開催を年6回予定している旨，報告があった。

---

田中議長から，次回の経営協議会は平成23年4月下旬の開催を予定している旨の説明があり，閉会となった。